

第107回 獣医学セミナー

ウシの加齢性不妊の発症機構

Mechanisms underlying the development of age-related infertility in cattle

角川博哉 先生
(獣医予防管理学)

2026年5月27日 (水) 17:00-18:00

iCOVER1階 101

和牛では加齢に伴い受胎率低下し、加齢性不妊は未解決の重要問題である。さらに乳牛では肉牛より加齢性不妊が早期発症する。原因臓器は卵巣、卵管、子宮、さらに視床下部・下垂体である。しかし詳細メカニズムは未解明で、治療法は不完全、予防法も未開発である。私達は若齢牛と高齢牛の卵管、子宮等を比較し、繊維化、異常なマクロファージ、タイトジャンクションの弱化等を見出した。視床下部・下垂体ではアルツハイマー症等の原因物質が悪影響する可能性を見出した。加齢性不妊は、子育てを完了可能な年齢に制限する合目的的機構である。しかし家畜の遺伝的改良に伴い早期化し、農家経営に著しく悪影響するため、さらなる研究開発が必要である。本研究はヒト不妊医療への応用も外部からは期待していただいている。

★ 教員・学生の積極的な参加をお願いします！ ★

連絡先：吉寄 (5890)、Alice L. C. (5855)

